



こんにちは。字幕付きCM普及推進協議会・委員長の沼澤です。連載も3回目となりました。今年10月、字幕付きCMは新しいフェーズとなります。即ち字幕CMのロードマップの最終ステップ(ステップ4)を迎えます。

私たち協議会では、この春、字幕付きCMに対する評価、効果等に関する調査を行い、5月に発表しました。広告主と広告会社を対象に事前調査も行っています。その事前調査では「CC字幕CMに取り組めない理由」として、(広告主から)「スポット枠にしかTVCMを出稿していない」、(広告会社から)「スポット出稿のみの広告主しか扱っていない」という声がありました。テレビ媒体の枠取りで、字幕付きCMが流せるのはタイム枠のみだったことが大きな理由の一つと言えます。しかし10月からは全国のすべての放送枠で、字幕付きCMが流せる新しいフェーズが訪れます。協議会ではロードマップをベースに、民放連の協力の元、これまで段階的にタイム枠の拡大を図ってきました。現在は全国のタイム枠で、字幕付きCMが放送できます。民放連でも、字幕付きCMを扱ったことがない放送局に向け、取り扱いの知見を高める目的で「それいけ! 字まくくん」CMを制作・配布、全

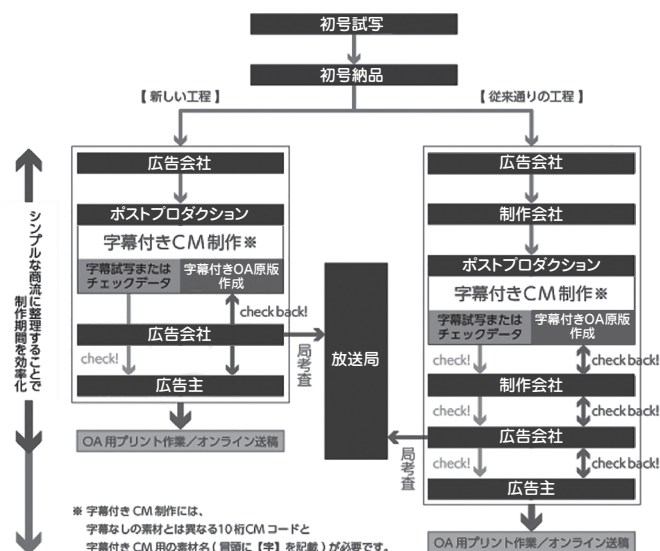
国の放送局は字幕付きCM送出の準備をしています。10月からはいよいよスポットを含めた全CM枠でCC字幕付きCMが放送できるようになる予定です。

注意点を申し上げます。字幕付きCMは、放送局の事前確認が必須。そもそも字幕は音声補償を目的としています。ですから音声にない内容を字幕で表示することはできません。例えば、話者が「今なら50% OFF」と音声を発していないのに、字幕に「今なら50% OFF」と表示することはできません。字幕付きCM素材搬入暫定基準では、事前確認に必要なものは、「①動画データ(字幕が表示されたもの、音声付き)、字幕原稿、②絵コンテ、字幕原稿」のいずれかです。「テレビ社(局)の事前確認を経た上で、広告会社は字幕付きCM素材をテレビ社へ搬入する。」事となっています。放送局の確認期間については基準では明記されていませんが、「字幕付きCM素材の搬入は、事前に当該テレビ社と調整のうえ、字幕なしのCM素材よりも十分余裕をもって行う。」とされています。CM制作進行に合わせてスケジュールの策定を、広告会社営業は意識することが必要です。**(※制作のヒント) 字幕作業をCM本篇の仕上げと並行して字幕担当ポストプロダクションに発注しておけば、全体の制作日程を短くすることは可能です。**

5月に発表した「字幕付きCMに対する評価、効果等に関する調査」の結果に基づいたツール(チラシ、PDF、PPT用データ)を作成し、JAAA Webサイトに掲示しています。今後報告・説明会も行いますので、詳細はどうぞ、JAAA Webサイトをご覧ください。ぜひ、ご参加をよろしくお願いいたします。

(ご質問は事務局 info@jaaa.ne.jp まで)

●字幕付きCM(クローズド・キャプション(CC))の制作工程



※ 字幕付きCM制作には、字幕なしの素材とは異なる10桁CMコードと字幕付きCM用の素材名(冒頭に【字】を記載)が必要です。

(※制作のヒント) 字幕付きCMハンドブック9ページ掲載の「制作工程」を参照のこと。



[それいけ! 字まくくん] (15秒/30秒) 民放連Webサイトで公開中
<https://j-ba.or.jp/category/broadcasting/jba105505>